

07

9.27 (月)

11:00~ 配信開始

グローバル  
地域文化学部  
あぎやま ようこ  
穂山 洋子 准教授

## 国家と言語

### —多言語国家スイスから考える

#### メッセージ

四つの国家語を有する多言語国家スイスを例に、国家と言語の関係を考えてみませんか。

#### 概要

国民国家という概念が成立して以来、言語は国民を統合するための手段として用いられ、単一言語を国家語とする国は少なくありません。一方で、四つの国家語を有するスイスをはじめ、複数言語を国家語と認める国もあります。

本講義では、まず、国家と言語に関係する基本的な概念を確認します。次に、国民統合という点では障害となりうる多言語国家を、なぜスイスは選んだのかという歴史的経緯について説明します。さらに、多言語国家であるがゆえの問題点について歴史的に説明します。最後に、スイスで、1848年の近代国家成立以降、どのような国民統合がおこなわれているのか、主に、ナショナル・アイデンティティの観点から考えてみようと思います。

日本では、日本語を「国語」とし、日本語を母語とする人が大半を占めるため、国家と言語の問題を考える機会があまりなかったと思います。本講義が国家と言語の問題を考える一助となれば幸いです。